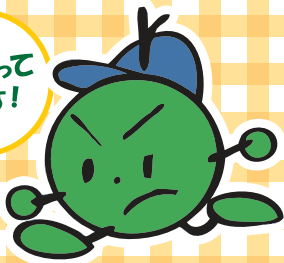


がんばって
います!



こどもエコクラブ

～三重県のこどもエコクラブ活動紹介～

立神小エコクラブ (志摩市)

- ・会員数 9名
- ・サポーター数 1名
- ・クラブの構成 小学校
- ・代表サポーターの松尾先生に聞きました

1つ目は『生き物の観察』です。川や干潟の生き物、林の中の昆虫等の様子と個体数の調査をしました。川や干潟の生き物で、水に汚れがあっても生活できるものはたくさんいたが、きれいな所でないといけないうち生き物は減少していました。川も海も環境改善をして、きれいな川や海をつつくり、生き物の個体数は増えていきます。しかし、まだ川や海の底にはヘドロ等が処理されず、きれいな水に住む生き物の餌や住む場所になる水苔や藻、海藻等が減っていることがわかりました。



どのような活動を
していますか？



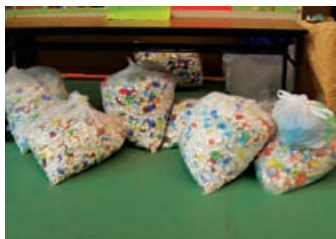
いつどのよう
にできたのですか？

平成20年、当時の4年生が1年間で『立神の自然と環境』について調べようと動き出しました。しかし、1年過ぎてみると、まだまだできることがあると卒業まで継続することになりました。その後も、興味のある子が引き続き活動を続けています。



写真①川の生き物観察

2つ目は『エコキャップ回収運動』です。環境の学習をしていて、“自分たちも何かしたい！”と色々考えました。そして、「キャップを集めて、ポリオワクチンを送る活動」があることを知り、取り組みました。同じ活動をやるイオンに活動の様子や方法を教えてもらいに行ったり、商店などに集めてもらうように、お願いに行ったりしました。



写真②集めたペットボトルのキャップ



どのようなことを
子どもに伝えたいですか？

今、里山や里海等の自然と関わる事が少なくなっています。クラブの活動で『人は人だけでは生きていけない』『自然環境に関わって生きていく』『植物や動物等と共存共生が大切だ』と話し合いました。そのために自然や生き物、身の周りの環境について考え続けることを伝えたいと考えています。



写真③「ゴミ新聞」を作りました

3つ目は『生活を知る事』です。買い物をするとき必要のない包装がありゴミになる事を考え、ゴミを減らすために「風呂敷の使い方」を学びました。また、アマモが魚の住みかや餌となることを知り、少しでも増やそうと干潟に植える事もしました。

こども エコクラブとは

- 入会費・登録費無料
- お問い合わせは
環境学習情報センターまで

幼児から高校生まで誰でも参加できる環境活動のクラブです。こども達の興味や関心に基づいて、身近な地域の中でできる活動に自由に取り組みます。仲間が集まればどんなグループでも「こどもエコクラブ」として登録して活動を始めることができます。



こどもエコクラブイメージキャラクター「エコまる」
<http://www.j-ecoclub.jp>